

表1 昭和61年度文部省・福島県教育委員会等指定・各種研究推進校一覧

種別	管内	市町村	学校名	校長名	指定		指定年度
					指文	定県	
体力つくり	県北	月舘町	月舘小	安田 益治	○		61~63
	県中	玉川村	泉 中	小針 孝定		○	61~63
	県南	中島村	滑津小	水戸 衛	○		60~62
	会津	北会津村	荒館小	鈴木 猛士		○	61~63
	南会津	下郷町	江川小	室井 和秀	○		59~61
格技指導	県南	棚倉町	棚倉中	永山 親雄	○		61~63
	会津	金山町	金山一中	阿部 制	○		59~61
	相双	浪江町	浪江中	松本 道夫	○		60~62
集団安全行動	県中	常葉町	常葉中	白岩 清		○	59~61
	相双	広野町	広野小	瀬戸 年雄		○	59~61

〈高等学校〉

体力	相双	福島県立双葉高等学校	古内 俊直		○	61~63
格技	会津	福島県立若松商業高等学校	大川原和助		○	60~62

〈保健・安全〉

健康づくり	県北	安達町	油井小	市川 敏夫		○	61~63
予防歯防	いわき	いわき市	四倉小	阿部 武		○	60~62
学校安全	会津	新鶴村	新鶴中	松崎 榮一	日本体育健康センター		61~62

〈給食〉

県中	鏡石町	鏡石一小	荻野 仁		○	61~62
いわき	いわき市	豊間中	佐藤 光之		○	61~62

昭和六十一年度における各種体育大会について一小学校では、運動競技奨励事業の陸上競技八十四市町村、水泳競技七十二市町村が開催し、基礎的体力及び運動能力の向上に努めております。

中学校では、第二十九回県中学校総合体育大会(いわき市)を中心とし、十八種目、六百六十名が参加し、東北大会では、陸上競技男子、野球、サッカー、ハンドボール男女、軟式庭球男女、剣道男子の八種目が優勝を飾り、全国大会では、東村立東中の軟式庭球男子が第三位入賞を果しております。

高等学校では、第三十二回県高等学校体育大会(会津・県南地区)に二十九種目、一万一千三百七十四名が参加

し、東北大会では、陸上競技、軟式野球、ハンドボール、弓道、馬術、自転車、ハンドボール、弓道、馬術、自転車が団体優勝に輝き、全国大会は、自転車、学法石川高が学校対抗で優勝したのを始め、水泳百m自由型の三浦賢司(日大東北高)自転車二万mポイントレースの佐藤裕之(学法石川高)選手が優勝するなどの成績を収めております。

また、全国高等学校定時制・通信制体育大会において、福島中央高の熊谷真由美選手が、陸上三千mで三連勝、八百mは二連勝という輝かしい全国制覇をとげております。

昭和六十三年度、全国中学校体育大会は、東北六県で開催されることが確定しており、本県では、陸上競技(郡

を期することが重要であります。

一、学校保健・学校安全の充実

1 児童・生徒の体格

昭和六十年度の学校保健統計調査によりますと、本県児童・生徒の体格は身長、座高がほぼ全国平均並、体重、胸囲がや、全国平均を上回っており、全体的には、望ましい発育状況を示しているといえます。

今後は、体格と体力の調和的な発達を図るため、学校と家庭が連携を密にし、栄養、運動、休養のバランスのとれた生活習慣を確立するよう保健指導の充実が努められます。

2 保健教育・保健管理

(1) 児童・生徒の疾病・異常

定期健康診断の結果から、主な疾病異常について全国の状況と比較すると、最も高い被患率を示しているう歯は、全国同様依然として九十%を超えていますが、図1のとおり、う歯の未処置歯のある者は、総体的に減少傾向にあるといえます。しかし、全国と比較しますと、まだ高い状況にあります。次に高い被患率を示している裸眼視力一・〇未満について見ますと、学校段階が進むにつれて視力低下が進行す